

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|----------------------------------|
| 事業名 | 地域資源発掘・発信プロジェクト |
| 事業主体 (連絡先) | 中山地域づくり協議会 活性化部会 松本市中山 3746-1 |
| 事業区分 | 産業振興、雇用拡大に関する事業 イ 農業の振興と農山村づくり |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 800,800 円 (うち支援金: 628,000 円) |

事業内容

地域内に散逸している地域活動や体験プログラム、及び地域人財の掘り起しを通じて、地域資源を一元化をはかり、地域を紹介する総合カタログとして発行することで地域を訪れる機会を提供するとともに販路の拡大につなげる。同時に近隣小中学校などの学校支援を目的とした人財バンクの整理を行う。

- ・地域資源及び人財の発掘 (8月～12月)
- ・商品造成 (11月～2月)
- ・地域総合カタログの制作 (12月～3月)



【総合カタログ】

【目標・ねらい】

- ①地域資源の発掘及び整理
- ②地域内人財バンクの整理
- ③地域総合カタログの制作
- ④地域内交流人口の増加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①散逸している地域活動・体験プログラムなどの集約及び整理ができた。
- ②小中学校の教育支援の一環として地域人財バンクの整理ができた。
- ③地域活動・体験プログラム・商品・人財などの発掘と整理を通じて、地域のヒトが地域にある資源を活用するということが理解され、新たな交流人口の増加や販路拡大への基盤整備ができた。

※自己評価【 B 】

【理由】

・地域資源の発掘は目標以上に進んだものの、カタログ制作の遅延により、情報発信が遅れた結果、当年度における具体的な数値目標を達成できなかった。

今後の取り組み

地域総合カタログの制作及び配布から、より具体的に交流人口を増やすし販路を増やすための施策として、総合カタログ掲載団体・商品のみならず、地域内の他団体と連携した「なかやま里山体験博覧会」の開催を行う予定としている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある